

まちづくりへの想いを語る

3/16

千年の学校「学長と語る会」が開催されました

上岸にあるカフェ「風工房」を会場に、千年の学校の学生と学長（鈴木町長）とが語り合う座談会が開かれ、様々な分野でまちづくりの活動をしている方もゲストとして参加しました。

今回は、以下の3つのテーマについて、それぞれの想いを語り合いました。



～それぞれのテーマで出された主な意見をご紹介します～

【川根本町の強みを活かすために】

- ・間伐材活用のための教室を開き木と林業にふれあう場を
- ・お茶の消費拡大のため、健康効果がわかるパンフレットを作成
- ・南アルプスエコパークや世界農業遺産についての教育と宣伝
- ・都会にはない人間関係や人柄が小さな町の魅力である
- ・町内各所で行われている活動の横のつながりを強化 など

【人口減少を食い止めるために】

- ・人口減少が進んでいる理由を行政と住民が共有し、できる方策から即実行
- ・大学や企業との連携で交流人口を増やし、移住へのきっかけをつくる
- ・場所や時間にとらわれない業種（企業）の誘致活動

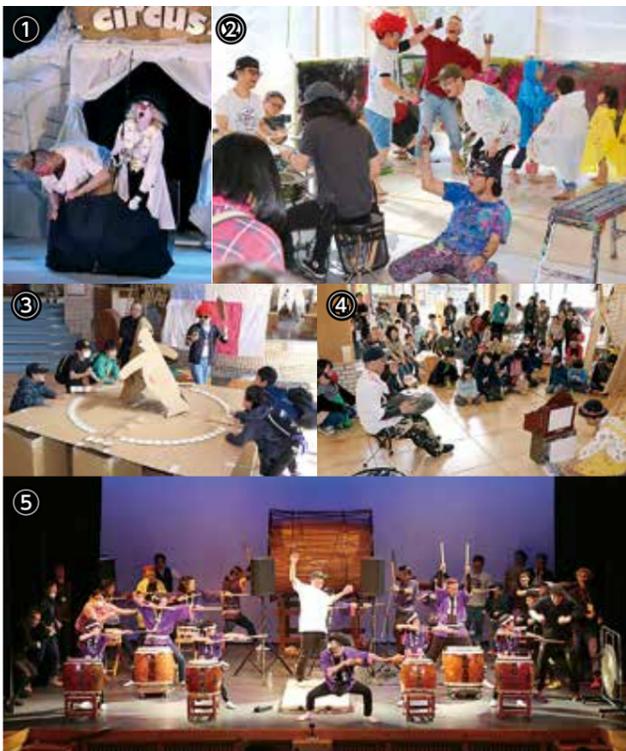
【川根本町で叶えたい私の夢】

- ・生涯現役でいられるように
- ・町内に眠っている歴史や文化財の再発見
- ・町内全地域の住民が一同に会する、町を挙げての文化イベントの開催
- ・町内で行われている様々な活動や取組をたくさんの人に向けて発信したい など

3/24

アートを楽しむ一日に

文化会館でアートフェスティバルが開催されました



去年からスタートした文化会館のアートフェスティバル。今年も多くアーティストが集まり、来場者と一体になったアート体験が行われました。

台詞が一切ない演劇や、赤石太鼓とタップダンスのコラボレーションといった公演がステージで行われたほか、会館内では楽器の演奏やライブペイント、巨大段ボール紙相撲といった体験型のアートを中心としたワークショップが多数催され、来場者を楽しませました。

また、芸術家はその地域に滞在して創作活動を行う「アーティストinレジデンス」として町内で創作活動を行っていた芸術家2人の作品展示なども行われました。

- ①体の動きだけで全てを表現する演劇「サーカスの灯」の一幕
- ②参加者が音楽に合わせて巨大キャンバスに思い思いの色を乗せていくライブペイント
- ③巨大な段ボール力士を使った紙相撲
- ④楽器の演奏に合わせて行われた紙芝居
- ⑤赤石太鼓とタップダンスの共演のラストは客席も一体となって盛り上がった

「地域を守る使命を胸に」

平成31年度 川根本町消防団辞令交付式



本年度は新たに 13 人が入団

4月4日(木)、山村開発センターにて平成31年度川根本町消防団辞令交付式が挙行され、団本部および全8分団から新入団員と班長以上の団幹部約130人が参加しました。

式典では、新入団員を代表して第3分団の佐々木直也団員が辞令交付を受けたのに続き、第4分団の堀井玲士哉団員が「良心に従って忠実に消防の業務を遂行することを誓います」と力強く宣誓を行いました。

鈴木敏夫町長は、式辞の中で「消防団員それぞれの姿が町民にとって一番の安心となる。早く消防団員になってほしい」と新たな団員を激励しました。

【新入団員は次の13人の皆さん】

丹羽亮介、佐々木直也、岡本和起、大窪一輝、坂本大地、遠藤史章、山本健太郎、猪又大樹、堀井玲士哉、宮崎翔太、藤中海、石間幸夫、栗原竜我



▲新入団員宣誓をする堀井 玲士哉団員



▲新入団員を代表して辞令を受けた佐々木 直也団員